



2021.7.17(土) 11:00kickoff J-GREEN堺・メインフィールド

関西学院大学	1	1	前半	1	1	桃山学院大学
		0	後半	0		
		0	延長前半	0		
		0	延長後半	0		
		3	PK	4		
21分	9 輪木 豪太(2 梅木 絢都)	得点(アシスト)		36分	39 長友 陸翔(19 池田 翔大)	

猛暑の中行われた準々決勝、関学大と桃山大の一戦は、J-GREEN堺・メインフィールドで行われた。試合は、21分、関学大が先に仕掛ける。中盤右サイド、DF2、梅木がMF9、輪木にボールを渡すと輪木がドリブルで運んでシュート。これが決まり関学大が先制に成功する。桃山大は36分、右サイドからFW19、池田がFW39、長友に浮き球のパスを送り、ボールを受けた長友がシュート。一度相手にブロックされるも、再び足を振り抜き、ネットを揺らす。同点ゴールを決め、前半のうちに試合を振り出しに戻す。両者ともに決定機を生み出すも両GKの好プレーにより、試合は延長戦へ。90分を全力でプレーしたとは思えない、上下動激しい延長戦に観客も目を見張る。ただ、それでも決着つかず、準々決勝最初の試合からPK戦へ。桃山大は、最初のキッカーがゴールの枠に嫌われ、不利な状況となるも残りの4本を決め、最後はGK21、瀧浪がセーブし、2大会ぶり10回目の総理大臣杯出場を決めた。試合後、DF3、石津は、「リーグ戦で勝てず、苦しんでいた。大会前に、もう一回強くなろうとチーム一丸となって取り組み、今日も粘り強く戦えた。」と喜びを感じさせた。



Reported by 田中陽大



2021.7.17(土) 14:10kickoff J-GREEN堺・メインフィールド

甲南大学	1	0	前半	0	1	びわこ成蹊スポーツ大学
		1	後半	1		
		0	延長前半	0		
		0	延長後半	0		
		4	PK	5		
86分	24 清水 健生 (6 藤原 貴大)	得点 (アシスト)		90+1分	8 佐藤 昂	

準々決勝1日目の第2試合は、初の総理大臣杯出場を狙う甲南大と2019年大会王者のびわこ大の一戦。甲南大はMF6、藤原を中心とした「団結力」を強みとして準々決勝まで勝ち進んできた。対するびわこ大は、徳島ヴォルティス内定のDF5、森やMF10、上月、MF8、佐藤など経験豊富な選手を中心に安定した試合運びで準々決勝へ。前半から、両チームとも特徴を発揮する展開に。甲南大は、アビスパ福岡内定のDF4、井上が中盤に縦パスを付け、攻撃にリズムを生み出す。MF9、久保のシュートがクロスバーに直撃する惜しいシーンもあった。びわこ大は、FW9、清水がボールを収め攻撃の起点となると、両サイドからドリブルが持ち味のMF11、泉や上月が好機を演出。後半も両チームともゴールに迫るシーンを作るものの得点へと結び付ける事ができず。そんな中86分、藤原のCKに途中出場のFW24、清水が頭で合わせ先制。喜びを爆発させ、ベンチメンバーに飛び込んだ。そのまま甲南大が勝利すると思われた90+1分、びわこ大・佐藤がゴール前の混戦から押し込んで同点、延長戦へと入る。10分ハーフの延長戦でも勝敗は決まらず、PK戦の末、勝利したのはびわこ大。DF5、森不在の中、勝利への執念を見せた。同点ゴールの佐藤は、「びわこ大が元気になるアディショナルタイムで得点できて良かった。準決勝に向け良い準備をして木曜日を迎えたい」と語った。



Reported by 奥山大輔



2021.7.18(日) 11:00kickoff J-GREEN堺・メインフィールド

京都産業大学	0	0	前半	0	0	関西福祉大学
		0	後半	0		
		0	延長前半	0		
		0	延長後半	0		
		3	PK	4		

1部リーグ3位、3回戦で立命大に勝利した好調、京産大。対するは、2部リーグ1位、ジャイアントキリングを狙う関福大の一戦。試合は前半から京産大がゲームを支配。MF6、國領がボランチの位置からボールを配球し、MF11、石川やMF17、中野の積極的な仕掛けで圧力をかける。守ってはDF5、河井とGK1、田中が落ち着いたプレーで安心感を与え、後ろからのコーチングでチームを締める。関福大は中央を固め、しぶとく守り、一瞬のスキを突く作戦。MF8、谷本のテクニックやFW53、流羽の前線でのプレーは相手を苦しませ続け、DF5、中島の守備も光っていた。前半を0-0で折り返し、後半終了間際。関福大が右サイドの崩しからネットを揺らすもオフサイドの判定。歓喜の瞬間はおあずけとなった。その後、10分ハーフの延長戦でも決着つかずPK戦へ。勝てば総理大臣杯出場、観客が視線を注ぐいつもとは違うプレッシャーの中でも落ち着いていたのは関福大だった。全員がきっちり決めきり下克上を果たした。試合後、関福大主将のMF16、服部は「自分たちは2部でチャレンジャーとして戦った。120分間粘り強く戦えたことが良かった。2部でも1部のチームを倒せることが証明でき、自信になった。」と話し、交代選手も十分戦える層の厚さも示した。関福大のチャレンジは道半ば、快進撃は止まらない。



Reported by 本橋駿



2021.7.18(日) 14:15kickoff J-GREEN堺・メインフィールド

大阪体育大学	1	1	前半	0	1	関西大学
		0	後半	1		
		0	延長前半	0		
		0	延長後半	0		
		4	PK	2		
44分	8 井上 颯人 (18 瀬尾 純基・13 梅津 倅風)		得点(アシスト)		81分	29 百田 真登(14 深澤 佑太)

J-GREEN堺・メインフィールドで観客が注目する中行われた関西選手権準々決勝は、パワフルかつ繊細なサッカーで相手を圧倒する大体大と、着実に勝ち上がり「全員サッカーで日本一」まで止まることなく突き進みたい関西大の一戦。試合は立ち上がりから関西大が猛攻をしかける。FW29,百田とFW11,宮脇のツートップが果敢に相手ゴールに向かって行くも最後の最後でゴールまで辿り着けない、もどかしい展開がひたすら続く。対する大体大は相手陣地に長いボールを入れ、関西選抜FW9,高橋が強靱なフィジカルを駆使してゴールへ押し込もうとする。目が離せない展開が続いてく中で前半終了間際に大体大MF8,井上がゴール左隅にお手本のようなシュートを決めて先制。後半に入ると関西大はフレッシュな選手を次々と投入して同点に持ち込もうとする。何度か得点のチャンスが続くも大体大GK,1泉森が立ちはだかる。しかし81分、MF14,深澤の華麗なターンからのパスをFW29,百田がゴールへ流し込み同点に。延長戦も一進一退の攻防が続き、PK戦へ。大体大が意地を見せて勝利を手にした。試合後、泉森は「あくまで目標は日本一、しっかり次も勝ってまずは関西制覇を成し遂げられるように一戦一戦、戦っていきたい」と笑顔で話した。



Reported by 納富太一

Match Preview 準決勝の見どころ

2021.7.22(木・祝) 17:00kickoff ヤンマースタジアム長居

大阪体育大学

VS

桃山学院大学



「勝って兜の緒を締めよ」GK1,泉森の活躍によりPK戦で勝利し、総理大臣杯の出場権を獲得した大阪体育大学。喜びムードかと思いきや、試合後30分の青空ミーティングを実施。主将のDF2,小川は「次の試合も厳しい試合になると思いますが、まずは関西一を獲って日本一に繋げられるように頑張りたいと思います。応援よろしくお願いします。」と笑顔で話した。

関西学院大学相手にチーム一丸となって戦い勝利した桃山学院大学。PKを止める活躍を見せたGK21,瀧浪は「自分達はチャレンジャー。先のことを見ず、一つ一つしっかりやっていきたい」と枯れた声で話した。体を張った守備でチームを統率した主将のDF3,石津は「今年日本一を掲げていて、その中で関西一も掲げている。その目標に向かって頑張ります。」と爽やかに、そして強く話した。

※14:30から予定しておりました、びわこ成蹊スポーツ大学-関西福祉大学の試合は、7月20日付でびわこ成蹊スポーツ大学が棄権し、関西福祉大学の不戦勝となりました。

①発熱等の場合は観戦をご遠慮ください



②健康チェックシートをプリントしてご持参ください



③マスクを着用してください



④こまめな手指消毒
⑤拍手での応援にご協力ください



※準決勝は「制限付き有観客」での実施となります。諸注意を当連盟HPにてよく確認し、会場へお越しください。